

読み聞かせボランティア



<川治小2年生>

2学期から始まった読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせ。この写真は、川治小学校2年生の教室の様子です。ジッと目を向けている子どもたちの姿から、熱心に耳を傾けていることが伝わります。朝、こうやって集中する時間を作ることで1日の学習のリズムもできることでしょう。また、「読書の秋」にふさわしく、本への関心を高めることもできるでしょう。10月27日からは、「読書週間」です。様々な機会を活用して、子どもたちに素敵な本を手渡していきましょう！

「読書(家読)のすすめ」

9月18日(金)に、上野小学校のPTA教育講演会で、「読書(家読)のすすめ」という題で話をしました。対象は、5・6年生と保護者のみなさんが一緒でした。これまでやってきた「楽しい読書出前授業」をそのままやらせてもらおうかとも考えたのですが、保護者の方々も一緒なので、「読書の効用」に重きを置いて話をしました。読書をするとうどんないいことがあるのか？ 多くの著名人が書いている本の紹介をしたり、自分の考えを伝えたりしました。加えて、「家読」のよさや、「家読」で楽しめそうな本の紹介もしました。



<上野小体育館で>

また、上野小学校は、ボランティアの方々力を借りて、図書室のリニューアルをしました。見せていただきましたが、子どもたちが行きたくなるような素敵な明るい図書室になっていました。図書室の環境整備で困っている学校は、ボランティアの方々に相談するのもいいですね。

子ども読書レベルアップ研修会 9月に2回開催された研修会に参加しました。簡単に紹介します。

1 「読み聞かせはきっかけづくり」

講師；大越さとみさん…読み聞かせサークル ワンダーランド代表(上越市)

- ・講師は、ラジオでアナウンサーの仕事がされていた経歴があり、はきはきとしたエネルギッシュな方。…「読み聞かせ」より「読み語り」の方がしっくりくる。様々なやり方があるが、自分のやり方でいい。体が資本。コロナ禍でも工夫して「3密」を避けてイベントを開催している。とのこと。

2 「探求する」学校図書館をつくる～情報リテラシーと知のデザイン～」

講師；長谷川優子さん…東京学芸大学非常勤講師

- ・探求学習は調べ学習とは異なる。自らの問いに対して、調べて分かったことの関係を整理し、つなげ、問いへの自分だけの答えをまとめる、思考する過程がある。正解は1つではない。その探求学習をすすめるために、図書館は「その人にとって的確な情報提供」をして、これからの社会を生き抜くための力と、やり抜ける自分への信頼感を育てることを支援したい。